

PTA あきた

~みんなで育てる 秋田の子ども~

今春
安全互助会と
PTA連合会が
統合

来春
川添・種平・
戸米川・大正寺
の4校が
統合します。



さわやかマラソン大会(大正寺小学校)

2015.7.21 No.128

【発行】秋田県PTA連合会
【事務局】秋田市山王中島町1番1号 秋田県生涯学習センター内
TEL:(018)864-8975 FAX:(018)824-7935
E-mail : pta-akita@nelen.ocn.ne.jp
<http://www.pta-akita.com>

(1) PTAあきた



老人クラブとふれあいPTA(種平小学校)



運動会 雄和音頭(川添小学校)



親子レク 高尾山登山(戸米川小学校)

将来を支える教育環境の充実を

会員の皆様におかれましては、日頃より本会の活動に対し、多大なるご理解とご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

さて、戦後70年、我が国がどん底から這い上がり、先進国の仲間入りをとげたことは、まさに奇跡的であり、世界からも驚きの目で見られていることは、皆様ご承知のとおりです。では、戦後の日本を支えてきた力は、何だったのでしょうか。日本人の勤勉さ、真面目さ、我慢強さももちろんあったでしょう。しかし、教育のレベル、あるいは教育の指針がしっかりしていたからこそ、だれでも一定の年齢になれば教育を無償で受けられ、さらに高等教育も受けられる権利を国が補償していたからではないでしょうか。

いうまでもなく、教育には時間と莫大な費用がかかります。いわば、次の世代に我が国の発展、繁栄を託した先行投資です。我が国が先進国と肩を並べ、また今後も世界の先

端を走るには高度な教育は不可欠です。教育環境の充実と子供たちの教育を受ける権利を今一度考えたいだきたいと思います。正に教育環境が後退することは、将来の国の存亡にかかわる重要なことです。もちろん、私たちPTAも日々勉強し、教育環境を整える努力をする必要がありますし、皆様におかれましても、子どもたちが健全に育ち、大きな夢をもって成長することができますようご支援をお願い申し上げます。



秋田県PTA連合会
会長 加藤 寿一

少子化で児童生徒数の減少に伴い、合理化していくことは、ある程度避けられませんが、『愛してやまない子どもたちのために』、教育環境を守りさらに充実させるため、会員が一つになって、活発なPTA活動をすることを、皆様と一緒に誓いたいと存じます。



安全互助会とPTA連合会が統合 …平成27年度定期総会から…

平成27年6月13日(土)ルポールみずほにおいて 本年度の定期総会が開催され、平成26年度決算及び平成27年度事業計画、予算並びに平成27年4月からのPTA連合会に統合されたPTA安全互助会の事業をPTA連合会が引き継いで、事業化することが承認されました。同時に平成27年度役員体制も次のとおりに決定しました。3名の新副会長をご紹介いたします。なお、同日、平成27年度秋田県PTA連合会会長表彰が催されましたので、併せてご紹介いたします。

●●変わらない思い

秋田県PTA連合会 副会長 桝木 良和 [大湯小学校PTA会長]

大湯小学校のPTA会長を務めさせてもらって、今年で5年になります。この間いろいろなことを経験させてもらいました。ある学年が崩壊の時期もあり、いじめもありました。最初のころは学校のせいにしたことも多々ありましたが、地域の人を巻き込んで、学校という垣根を外し、人の目を多くしたことによる抑制力が働き、少しずつ、少しずつ変わってきました。何より、クラスのことをクラスの皆で話し合って解決しようとまとまってくれたのが一番うれしかったです。

問題を起こした子たちが卒業式の前の日にいじめた子に直接謝りに行ったという話を聞いた時には、ほっとした気持ちと自分たちも悪いことしているという自覚があったのだと思いました。時代や家庭環境の違いはあるかもしれません、子育ての基本は変わらないと思います。



●●挨拶をしていくこう

秋田県PTA連合会 副会長 菊地 広幸 [由利中学校PTA会長]

私は現在、ひとり親で二人の娘と過ごしています。しかし、決して私ひとりの力で育てているわけではなく、家族や学校、保護者の方々や地域の人たちがサポートしてくれるからこそ、一歩踏み込んで、PTA活動へ取り組み、活動していくと実感しております。

PTA活動や学校行事、部活動などあらゆることに参加していくことで、保護者の方々やたくさんの子どもたちと出会うことができる事は、何よりも心強く思います。



●●子どもたちのためにできることを

秋田県PTA連合会 副会長 山崎 精輝 [大曲西中学校PTA会長]

大仙市PTA連合会は、発足8年目を迎え、縦と横の連携を深めながら、子どもたちの健やかな成長を願いながら、日々活動を続けております。各PTA会長の援助を受けながら、なんとか今を迎えてます。大仙市PTA連合会は年1回、「研修視察」として、ある学校を視察に行きます。自分の学校だけでなく、他の学校を視察することで、「うちでもこれやってみよう」などの新しい発見を見つけることで、新たな活動につながっています。

教育王国「秋田」と言われますが、勉強だけではなく、『人』としての教育は、親はもちろんですが、地域の協力が不可欠です。社会は全てが対話で成り立っています。便利な世の中で、メール、ラインで意思を伝えることは出来ますが、抑揚のない字だけ、受け取る側の解釈で、良い意味にも悪い意味にも、どちらにも取れる言葉があります。気持ちをきちんと言葉、声で伝えられる子どもたちに私たちがしていきましょう。少子高齢化の波は、勢いを増すばかりですが、地域を明るくしてくれるのは、子どもたちです。子どもたちのために、私たちができることを！



平成27年度 秋田県PTA連合会 役員一覧

会長	秋田／勝平中P	再	文悟司	美郷／仙南小P
副会長	かづの／大湯小P		典純	横手／浅舞小P
同	秋田／勝平中P	再	沙里	湯沢雄勝／高瀬中P
同	由利本荘／由利中P		明之	かづの／花輪第一中P
同	大仙／大曲西中P		勉仁	大館北秋田／积迦内小P
参	県小学校長会長／中通小		一	能代山本／能代東中P
与	県中学校長会長／秋田南中		公	潟上南秋田／東湖小P
監	大館北秋田／桂城小P		美佳	男鹿／男鹿南中P
事	秋田／秋大附属中P		麻一	秋田／山王中P
監	湯沢雄勝／元西小P		沙里	由利本荘／岩城小P
事	大館北秋田／桂城小P		一	再
監	能代山本／能代南中P		一	にかほ／象潟小P
事	潟上南秋田／東湖小P		仁	大仙／南外中P
監	男鹿／潟西小P		美也	仙北／神代中P
事	にかほ／平沢小P		一	美郷／六郷小P
監	仙北／西明寺中P		美光	横手／境町小P
事			一	湯沢雄勝／湯沢東小P
委員長	藤木崎地崎田澤田村藤坂淳和陽正京貴	寿良	春	
同	藤木崎地崎田澤田村藤坂淳和陽正京貴	一和	榮清	
同	藤木崎地崎田澤田村藤坂淳和陽正京貴	幸輝	佳	
同	藤木崎地崎田澤田村藤坂淳和陽正京貴	彦	麻	
同	藤木崎地崎田澤田村藤坂淳和陽正京貴	栄	一	
同	藤木崎地崎田澤田村藤坂淳和陽正京貴	之	公	
同	藤木崎地崎田澤田村藤坂淳和陽正京貴	雄	一	
同	藤木崎地崎田澤田村藤坂淳和陽正京貴	一	美	
同	藤木崎地崎田澤田村藤坂淳和陽正京貴	和	美	
同	藤木崎地崎田澤田村藤坂淳和陽正京貴	彦	也	
同	藤木崎地崎田澤田村藤坂淳和陽正京貴	栄	一	
同	藤木崎地崎田澤田村藤坂淳和陽正京貴	淳	美	
同	藤木崎地崎田澤田村藤坂淳和陽正京貴	和	光	
同	藤木崎地崎田澤田村藤坂淳和陽正京貴	陽		
同	藤木崎地崎田澤田村藤坂淳和陽正京貴	正		
同	藤木崎地崎田澤田村藤坂淳和陽正京貴	京		
同	藤木崎地崎田澤田村藤坂淳和陽正京貴	貴		

おめでとうございます 平成27年度 秋田県PTA連合会 表彰一覧

(所属名)敬称略

●●団体

鹿角市立大湯小学校PTA
大館市立上川沿小学校PTA
八峰町PTA連合会
五城目町立五城目小学校PTA
男鹿市立船越小学校PTA
仙北市立生保内小学校PTA
美郷町立美郷中学校PTA
横手市立横手北中学校PTA
湯沢市立須川小学校PTA

●●個人

佐藤 弘毅 (八幡平小P)
菊地 聖悦 (大阿仁小P)
丸岡 康昭 (川口小P)
広幡 清香 (東雲中P)
山本 友文 (八森小P)
土肥 芳宏 (飯田川小P)
岩谷 淳志 (男鹿東中P)

佐々木 展 (日新小P)
高橋 義幸 (金足西小P)
藤垣 宏秋 (泉中P)
真坂 大康 (大正寺小P)
益子 和秀 (城東中P)
吉尾 千秋 (御所野学院中P)
須藤 智子 (仁賀保中P)

田村 雅史 (高梨小P)
千葉 薫 (生保内中P)
鈴木 豊文 (千畑小P)
後藤 展史 (平鹿中P)
佐藤 学 (横手北中P)
高橋 和宏 (山内小P)
武田 正俊 (仙道小P)



レポート

平成27年度 会長会議(7/4)から

特別講話 秋田県教育長米田進氏の

『グローバル化と コミュニケーション』を傾聴して

グローバル化とは余すことなく空気のように地球を覆うイメージで、この社会には、世界と「アクセスする能力」「対話できる能力」＝「グローバリテラシー」が必要。その中でもコミュニケーション能力が求められるようになる。

コミュニケーションの問題としては、一人っ子がクラスの約3割を占め、また祖父母との同居も減少し、20歳になるまで親以外の大人と対話したことが殆どない人が出現している事。また、ダブルバインドという相反する要求の対応状況に置かれている事。

グローバルコミュニケーションスキルとしては「いろいろな価値観や背景をもつ人々による集団において合意形成・課題解決する能力」を育むことが重要。

今後の動きからは、「教育再生実行委員会」が「学び続ける社会」「全員参加型社会」「地方創生を実現する教育の在り方について」の中で、20年後には、児童の65%は今存在しない職業への就職や、今ある47%の仕事の自動化が考えられ、社会に出た後も誰もが学び続け夢や志のために挑戦できる社会、多様な人材が担い手となる全員参加型社会を目指した教育が考えられている等々。

20年後と言わず10年後を見据えた教育が行われることを期待しつつ、学び続けることの楽しさ・大切さを育む環境作りを親として、地域の大人として考えていきたいと思う。

Learning is a treasure that will follow its owner everywhere.
(宇佐美記)



『たかが食、されど食 ～食を通じて子どもたちに伝えられること～』

講師 柿田みどり 先生(農業ジャーナリスト)

食育事業の事例として

生涯食育事業(小浜市)「キッズ・キッチン」や小中高校を通じて健康に暮らすための最低限の調理ができる技術を教える取り組み。

NPO霧島食育研究会の「食の文化祭」「子どもや孫に残したい霧島の食はなんですか?」をテーマに一人一品料理に思い出をメッセージカードにし、タイトルもつけて持ち寄って、みんなで試食する会。それが、感動をよび全国から毎年多くの人が集まるイベントになった。

「お弁当の日」子どもが自分の分と、食べさせたい相手の分の二つのお弁当を作る取り組み。いつもは作ってもらっている側ながら、作る側になった時にお弁当が持っているメッセージに気付く。

「クッキング・セラピー」親子一緒に料理をすることで話のきっかけが作りやすく、子から今日の出来事や悩みをさりげなく聞くことができる。

「お米の学校」臼降隆(農家)バケツ稻を人間の成長期(種もみ=赤ちゃん、苗箱育成=保育園、苗のバケツ移植=小学校)と重ね合わせた稻作体験の相互学習。

結局、「食」は多面体。生活の自立のため、簡単な料理くらいは出来るようになろう、味覚をみがこう、どういう食材があるか知ろう、あと日本の食の文化を知ろう(一汁二菜)、これが自分の健康な体を維持する為の大変な力になる。もう一つは、食を通じて他者を確認する場にもなっている。作った人、一緒に食べる人、特に食卓はみんなで取り分けることで気遣いをする関係ができたり、一番身近なコミュニケーションの場。楽しい場が作られること!

(本多記)

(日本PTA国内研修) 沖縄渡嘉敷島を訪ねて

仁賀保中3年 田中 美月



私は、3泊4日の沖縄渡嘉敷島でたくさんの事を学びました。

まず、仲間の大切さです。不安だらけだった4日間、4班の皆には何回も助けられました。皆がいたから頑張れた

のだと思います。次に、戦争の悲惨さと平和の尊さです。集団自決や沖縄戦の話を聞いて、戦争はもう二度と繰り返してはいけないと改めて感じました。また、私たちが大人になったときに戦争を体験した人はほとんどいなくなってしまいます。平和を守るためにには私たちが戦争の恐ろしさを語り継いでいく必要があるのだということも確認させられました。

渡嘉敷島から学んだ仲間や平和の大切さを忘れずに、未来のために生かしていきたいと思います。

象潟中3年 近藤 皓介



研修の前、私の心中には、知らない人たちの中でうまくやっていけるだろうかという不安でいっぱいでした。しかし、その不安はすぐになりました。班のみんなともすぐに打ち解け、全

国のみんなと仲良くなることができ、楽しい研修を過ごすことができました。

平和学習では、渡嘉敷島、沖縄のつらい過去を学び、それに負けずに生きていこうとする強くたくましい島の方々の姿を知りました。海洋研修では、美しい渡嘉敷の海を存分に満喫しました。青く澄んだ海に住むきれいな魚も見ることができました。そして、鼎談やワークショップを通して島の方々と交流しました。島の方々はすごく優しく私たちに接してくれました。ワークショップで体験した慶良間太鼓は今でも身体にリズムが残っています。

沖縄での研修は「自分の世界を広げる」そんな研修になったと感じています。今回学んだこと感じたことは自分のかけがえのない財産になりました。

研修の成功のためにご尽力くださった方々に感謝したいです。ありがとうございました。

平成27年度 郡市PTA連合会事務局長名簿

か づ の	田 村 定	大 湯 小 学 校
大館北秋田	松 沢 敦	桂 城 小 学 校
能代山本	淡 戸 敬	能 代 南 中 学 校
潟上南秋田	戸 田 信	東 湖 小 学 校
男 鹿	畠 山 勇	船 川 第一 小 学 校
秋 田	崎 藤 敏	勝 平 中 学 校
由 利 本 荘	加 三 鈴 直	新 山 小 学 校
に か ほ	鈴 木 正	平 沢 小 学 校
大 仙	布 石 久	大 曲 西 中 学 校
北 郷	谷 村 孝	西 明 寺 中 学 校
美 手	村 正	仙 南 小 学 校
横 湯	木 史 彰	浅 舞 小 学 校
沢 雄 勝	古 関 宏 葵	高 瀬 中 学 校

お知らせ

平成27年度に安全互助会は県PTA連合会と統合し、安全互助事業として、保険事業などのすべてが継承されています。様式等は安全互助会を県PTA連合会と読み替えて使用できます。請求手続きも変わりません。

宜しくお願ひいたします。

平成27年度 広報紙コンクール

入選校を紹介します。

平成27年5月16日生涯学習センターにおいて、高橋康弘氏(秋田大)森川勝栄氏(県教育委員会)らを審査員に迎え、昨年度の応募を大幅に上回る小学校広報紙44紙 中学校広報紙28紙を審査した結果次のとおり入選としました。審査員からは写真の取捨選択についてや知らせたい情報の扱い方に多くの講評がよせられました。入選PTA広報紙は平成27年度総会において表彰し、今年度の全国広報紙コンクール(日本PTA主催)に出品します。

「新たな伝統を生徒と共に」

由利本荘市立大内中学校 PTA会長 小林 直希

旧出羽中学校の校舎が大規模改修され、これまで数々の栄光と実績を残してきた旧大内中学校と旧出羽中学校がこの4月に統合、新生大内中学校として開校いたしました。

新しい校歌の歌詞は、両校の生徒で組織された校歌制作委員会によるものです。また校章も生徒の図案を基に作られたもので、大内を代表するさつきの花がデザインされ、その5つの先端は、「自立・団結・協力・希望・飛躍」を目指しています。

PTA活動においても、これまでの両校の実績を踏まえ組織しました。両校の伝統を受け継ぎ、さらに新しい伝統を築き上げていこうと団結して頑張っている大内生のために、PTAとして全力でバックアップしていきたいと考えています。



平成26年度 秋田県PTA安全互助会から

<p>児童・生徒の傷害事故 1,490件</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>■態様</p> <ul style="list-style-type: none"> ス波少活動中 …… 494 遊戯中 …… 396 日常生活 …… 221 他スポーツ中 …… 155 自転車事故 …… 150 登下校中 …… 71 PTA行事中 …… 3 (うち交通事故 …… 36) </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>■ケガの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 骨折 …… 768 捻挫 …… 273 切傷 …… 217 打撲 …… 129 眼・歯等 …… 48 やけど …… 37 死亡 …… 2 その他 …… 16 </td> </tr> </table>	<p>■態様</p> <ul style="list-style-type: none"> ス波少活動中 …… 494 遊戯中 …… 396 日常生活 …… 221 他スポーツ中 …… 155 自転車事故 …… 150 登下校中 …… 71 PTA行事中 …… 3 (うち交通事故 …… 36) 	<p>■ケガの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 骨折 …… 768 捻挫 …… 273 切傷 …… 217 打撲 …… 129 眼・歯等 …… 48 やけど …… 37 死亡 …… 2 その他 …… 16 	<p>児童・生徒の賠償事故 67件</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>車の破損 …… 22</p> <p>眼鏡を壊す …… 20</p> <p>ガラスの破損 …… 11</p> <p>その他の物損 …… 9</p> <p>人にケガをさせる …… 5</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"></td> </tr> </table>	<p>車の破損 …… 22</p> <p>眼鏡を壊す …… 20</p> <p>ガラスの破損 …… 11</p> <p>その他の物損 …… 9</p> <p>人にケガをさせる …… 5</p>	
<p>■態様</p> <ul style="list-style-type: none"> ス波少活動中 …… 494 遊戯中 …… 396 日常生活 …… 221 他スポーツ中 …… 155 自転車事故 …… 150 登下校中 …… 71 PTA行事中 …… 3 (うち交通事故 …… 36) 	<p>■ケガの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 骨折 …… 768 捻挫 …… 273 切傷 …… 217 打撲 …… 129 眼・歯等 …… 48 やけど …… 37 死亡 …… 2 その他 …… 16 				
<p>車の破損 …… 22</p> <p>眼鏡を壊す …… 20</p> <p>ガラスの破損 …… 11</p> <p>その他の物損 …… 9</p> <p>人にケガをさせる …… 5</p>					
<p>PTA会員の傷害事故 45件</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>■PTA行事</p> <ul style="list-style-type: none"> バレーボール …… 31 運動会・親子レク …… 8 野球 …… 4 奉仕活動 …… 2 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>■ケガの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 捻挫 …… 23 骨折 …… 6 腱断裂 …… 6 肉離れ …… 5 打撲 …… 4 切傷 …… 1 </td> </tr> </table>		<p>■PTA行事</p> <ul style="list-style-type: none"> バレーボール …… 31 運動会・親子レク …… 8 野球 …… 4 奉仕活動 …… 2 	<p>■ケガの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 捻挫 …… 23 骨折 …… 6 腱断裂 …… 6 肉離れ …… 5 打撲 …… 4 切傷 …… 1 		
<p>■PTA行事</p> <ul style="list-style-type: none"> バレーボール …… 31 運動会・親子レク …… 8 野球 …… 4 奉仕活動 …… 2 	<p>■ケガの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 捻挫 …… 23 骨折 …… 6 腱断裂 …… 6 肉離れ …… 5 打撲 …… 4 切傷 …… 1 				

小学校の部

- 秋田市立旭北小学校PTA「kyokuhoku」
- 秋田市立勝平小学校PTA「かつひら通信」
- 横手市立浅舞小学校PTA「とんがりやね」
- 横手市立朝倉小学校PTA「すくらむ」
- 秋田市立広面小学校PTA「ひろおもて」
- 由利本荘市立尾崎小学校PTA「おざき」



中学校の部

- 秋田市立勝平中学校PTA「松籟」
- 八郎潟町立八郎潟中学校PTA「PTA会報」
- 秋田市立山王中学校PTA「PTA山王」
- 由利本荘市立出羽中学校PTA「堤台」

日新火災

**お客様ひとりひとり、
顔のみえるおつきあい。**

日新火災は、ひとりひとりのお客さまとしっかり向きあう「顔のみえるおつきあい」で、お客様のご期待にお応えしたいと考えています。

お客様に最も身近で誠実な損害を目指して

秋田県PTA安全互助会補償制度取扱会社

日新火災海上保険株式会社

秋田サービス支店 〒010-0001 秋田市中通4-5-2-4F TEL.018-837-5255